

Ⅱ－２【衛生環境試験所編】事業の概要と実績

１ 試験検査

(1) 感染症等検査

(平成8年度開始 令和6年度予算：10,741千円 一部国・県補助，拡充分2,628千円)

ア 感染症検査（平成11年度開始）

【事業の目的・内容】

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、「感染症法」という）に基づき，ノロウイルスやロタウイルス等を原因とする感染性胃腸炎等の患者発生時に，病原体及び感染経路の解明と感染拡大防止のために，患者や接触者等の便等の検査を実施する。

(保健所編 感染症の発生・まん延防止対策の実施 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》感染症検査実施状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
検体数	130	86	61
項目数計	155	86	61
腸管出血性大腸菌	23	22	2
ノロウイルス	106	64	59
サポウイルス	4	-	-
ロタウイルス	4	-	-
アデノウイルス	4	-	-
エンテロウイルス	4	-	-
病原大腸菌	5	-	-
セレウス	5	-	-

イ 感染症発生動向調査事業に係る検査（平成11年度開始）

【事業の目的・内容】

感染症発生動向調査は、「感染症法」に基づき，全国規模で実施されている。本市においても，医療機関の協力を得て，感染症の流行実態を早期かつ的確に把握することにより，予防措置を講ずることを目的に，病原体検査を実施する。

(保健所編 感染症発生動向調査事業 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律， 宇都宮市感染症発生動向調査事業実施要綱 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》感染症発生動向調査事業に係る検査実施状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
検体数	24	33	52
項目数計	24	33	60
腸管出血性大腸菌感染症 ^{※2}	13	13	1
日本紅斑熱 ^{※1}	-	-	5
つつがむし病	-	-	5
レジオネラ症 ^{※2}	-	-	-
レプトスピラ症 ^{※1}	-	-	-
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	2	9
急性脳炎	8	-	-
急性弛緩性麻痺	-	-	4
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 ^{※2}	1	-	4
麻しん	-	3	3
風しん	-	3	3
インフルエンザ	-	12	18
結核菌	-	-	-
ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	-	-	4
E型肝炎	-	-	1
多剤耐性カジダ・アリス	-	-	1
インフルエンザ菌	-	-	1
重症熱性血小板減少症候群	-	-	1

※1 国立感染症研究所に検査を依頼

※2 医療機関から送付された菌株を性状確認後、国へ送付

新型コロナウイルス感染症の検査実施状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
感染疑い検査人数	17,357 (1,411)	2,574 (400)	0 (0)
検体数 ^{※1}	17,904	3,771	726
項目数計	19,139	3,771	726
PCR検査	17,671	2,832	0
変異株スクリーニング検査 ^{※2}	920	0	0
ゲノム解析 ^{※3}	548	939	726

*（ ）は陽性者数

※1 検体数については、1人につき複数の検体を検査する場合があるため、感染疑い検査人数とは一致しない

※2 変異株スクリーニング検査：令和3年2月から開始

※3 ゲノム解析：令和3年7月から開始

ウ HIV・性感染症検査（平成8年度開始）

【事業の目的・内容】

感染症の早期発見・早期治療及び二次感染の防止を推進し、そのまん延を防止することを目的に検査を実施する。

(保健所編 エイズ・性感染症・ウイルス性肝炎の検査・相談 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 性感染症に関する特定感染症予防指針 宇都宮市H I V・性感染症・ウイルス性肝炎検査及び相談実施マニュアル 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》性感染症検査実施状況

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
受診者数		392	495	736	
HIV 検査		375(2)	474(1)	703(0)	
梅毒検査		378(9)	481(6)	709(10)	
項目数	HIV 検査	1次	750	948	
		2次			
		確認	3	2	1
	梅毒検査	1次	756	962	1,418
		2次	1	-	-
計		1,510	1,912	2,825	

* () は陽性者数

エ 結核菌感染診断検査（クオンティフェロン（QFT）検査）（平成18年度開始）

【事業の目的・内容】

結核については、かつてに比べ患者数は減少しているものの、地域的偏在や集団発生の散発等がみられ、これらに対応した保健医療体制の確保が要請されている。

QFT 検査は既往の BCG 接種の影響を受けないことから、感染者の接触者等二次患者の結核感染の有無の参考となる。効果的な予防・まん延防止のため、QFT 検査を実施する。

(保健所編 結核発生動向調査事業 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 結核に関する特定感染症予防指針	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》QFT (IGRA) 検査実施状況

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数		115	55	182
判定	陽性	17	4	10
	判定保留	-	-	-
	陰性	98	51	172

オ 利用水検査（平成8年度開始）

【事業の目的・内容】

「レジオネラ症防止指針」に基づき、利用水のレジオネラ属菌の検査を実施する。また、衛生管理を評価・指導するため、「公衆浴場法」、「旅館業法」に基づき浴槽水の大腸菌群、「遊泳用プール衛生指導要綱」に基づき採暖槽水、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づき、冷却塔水の大腸菌の検査を実施する。

(保健所編 生活衛生施設等の監視・指導の充実 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
公衆浴場法, 旅館業法, 建築物における衛生的環境の確保に関する法律, 宇都宮市遊泳用プール衛生指導要綱 等	生活衛生課 食品・環境衛生グループ

《実績》

① 利用水検査状況

検体	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
浴槽水	118(4)	331	120(3)	329	109(1)	310
採暖槽水	10(0)	40	9(0)	34	8(0)	32
冷却塔水	27(6)	81	21(4)	63	20(4)	60
計	155	452	150	426	137	402

* () はレジオネラ属菌の基準超過数

② 利用水検査項目等

	浴槽水	採暖槽水	冷却塔水	計
レジオネラ属菌	109	8	20	137
大腸菌群数	92	-	-	92
大腸菌	-	8	20	28
アメーバ	109	8	20	137
一般細菌数	-	8	-	8
計	310	32	60	402

カ 国民健康栄養調査 (平成8年度開始)

【事業の目的・内容】

国民健康栄養調査に係る血液化学検査及び血糖検査に協力する。

(保健所編 国民健康・栄養調査の実施 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
健康増進法 等	健康増進課健康づくりグループ

《実績》 国民健康栄養調査実施状況 (件)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
検体数	-	5	9

(2) 食品等検査 (平成8年度開始 令和6年度予算: 15,523千円 市単独, 拡充分245千円)

ア 食品収去等検査 (平成8年度開始)

【事業の目的・内容】

「食品衛生法」に基づき, 保健所が食品衛生監視指導計画により実施する収去検査と買上げ検査, 食中毒調査関連の検査を実施している。また, 市内食品業者や中央卸売市場の包丁やまな板等のふきとり検査を実施する。

(保健所編 食品収去の実施 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
食品衛生法, 乳及び乳製品の成分規格等に関する省令, 宇都宮市農畜水産食品残留有害物質検査実施要領 等	生活衛生課食品衛生グループ

《実績》食品等検査実施状況まとめ

依頼課	検査分類	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
生活衛生課	食品収去等	1,256	15,926	1,265	14,460	1,137	15,039
	食中毒	56	599	59	628	289	1,987
	苦情等	-	-	-	-	1	3
学校健康課	苦情等	1	1	-	-	-	-
保健所総務課	家庭用品	23	26	23	26	19	19

※ 令和5年度食品収去等内訳：買上げ（6検体24項目）、ふき取り（60検体、120項目）を含む。

《項目別実績》

① 微生物検査の実施状況

生鮮食品や加工品等について、成分規格、衛生規範、その他衛生状態の確認等に係る細菌等の検査を行う。

	冷凍食品	弁当・ そうざい	魚介類及び加工品	肉類及び加工品	野菜及び加工品	豆類及び加工品	麺類	菓子類	清涼飲料水	氷菓	いけすの水	ふきとり	計
検体数	20	79	58	20	40	-	18	69	15	5	39	60	423
項目数計	40	205	82	56	110	-	54	207	15	10	39	120	938
細菌数	20	79	8	-	10	-	18	69	-	5	-	-	209
大腸菌群	15	-	14	4	-	-	8	69	15	5	-	60	190
大腸菌 (E. coli)	5	63	-	16	30	-	10	-	-	-	-	-	124
大腸菌最確数	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
腸管出血性大腸菌	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	40
腸球菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
緑膿菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
黄色ブドウ球菌	-	63	-	16	-	-	18	69	-	-	-	-	166
サルモネラ属菌	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	16
腸炎ビブリオ	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	39	60	129
腸炎ビブリオ最確数	-	-	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
クロストリジウム属菌	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4
ノロウイルス	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8

[結果] 成分規格違反

: 生食用かき (腸炎ビブリオ最確数 1 件)

冷凍食品 (大腸菌 1 件)

収去実施要領不適合 : 洋生菓子 (大腸菌群検出 10 件, 細菌数超過 4 件)

その他

: ふきとり (大腸菌群検出 22 件)

② 食品添加物検査実施状況

加工食品に使用される保存料や甘味料，着色料等の食品添加物の使用基準の検査を行う。

		魚介類及び加工品	肉類及び加工品	果実及び加工品	野菜及び加工品	豆類及び加工品	穀類及び加工品	麺類	菓子類	清涼飲料水	酒精飲料	缶詰・瓶詰	計
検体数		66	20	22	72	27	2	10	40	15	9	5	288
項目数計		575	40	134	446	45	3	10	80	174	18	53	1,578
保存料	ソルビン酸	55	20	17	66	22	1	-	-	-	9	5	195
	安息香酸	11	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	26
	パラオキシ安息香酸エステル類	-	-	-	3	-	1	-	-	15	-	-	19
甘味料	サッカリンナトリウム	25	-	-	53	13	1	-	-	-	-	-	92
	サイクラミン酸	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	40
発色剤	亜硝酸根	16	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36
漂白剤	二酸化硫黄	-	-	9	12	10	-	-	-	-	9	-	40
品質保持剤	プロピレングリコール	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	10
酸化防止剤	T B H Q	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	40
合成着色料	酸性タール色素12種類	468	-	84	312	-	-	-	-	144	-	48	1,056
防かび剤	アゾキシストロビン	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	イマザリル	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	オルトフェニルフェノール	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	ジフェニル	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	チアベンダゾール	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	ピリメタニル	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	フルジオキシニル	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	プロピコナゾール	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3

〔結果〕 食品表示違反：乾燥果実（酸性タール色素（黄色4号）検出1件）

③ 乳及び乳製品検査実施状況

乳及び乳製品の成分規格等に関する省令に基づき，成分規格の検査を行う。

	牛乳	加工乳	乳飲料	発酵乳 乳酸菌飲料	アイスクリーム類	計
検体数	12	2	14	19	11	58
項目数計	72	8	28	38	22	168
細菌数	12	2	14	-	11	39
大腸菌群	12	2	14	19	11	58
酵母及び乳酸菌数	-	-	-	19	-	19
比重	12	-	-	-	-	12
酸度	12	2	-	-	-	14
乳脂肪分	12	-	-	-	-	12
乳固形分	-	-	-	-	-	-
無脂乳固形分	12	2	-	-	-	14

〔結果〕 成分規格違反：なし

④ 残留農薬検査の実施状況

食品中に残留する農薬などが、基準を超えて人の健康に害を及ぼすことのないよう、規格基準の検査を行う。

残留農薬の検査可能項目一覧[339項目]

1	2-(1-ナフチル) アセタミド ※	86	クロルピリホス ※	171	トリアジメノール ※	256	フルシラゾール ※
2	BHC ※	87	クロルピリホスメチル ※	172	トリアジメホン ※	257	フルチアセトメチル ※
3	DDT ※	88	クロルフェナビル ※	173	トリアゾホス ※	258	フルトラニル ※
4	EPN ※	89	4-クロルフェノキシ酢酸 (4-CPA) ※	174	トリアレート ※	259	フルトリアホール ※
5	TMTB ※	90	クロルフェンソル ※	175	トリクロロビル ※	260	フルバリエート ※
6	XMC ※	91	クロルフェンビンホス ※	176	トリシクラゾール ※	261	フルフェノクスロン ※
7	γ-BHC (リンデン) ※	92	クロルブファム ※	177	トリチオナゾール ※	262	フルフェンビルエチル ※
8	アイオキシニル ※	93	クロルフルアズロン ※	178	トリデモルフ ※	263	フルミオキサジン ※
9	アクリナトリン ※	94	クロルプロファム ※	179	トリブホス ※	264	フルミクロラックベンチル ※
10	アザコナゾール ※	95	クロルベンシド ※	180	トリフルミゾール ※	265	フルメツラム ※
11	アザメチホス ※	96	クロロクスロン ※	181	トリフルムロン ※	266	フルリドン ※
12	アンプルオルフェン ※	97	クロロネブ ※	182	トリフルラリン ※	267	フルロキシビル ※
13	アジンホスメチル ※	98	クロロベンジレート ※	183	トリプロキシストロビン ※	268	プレチラクロール ※
14	アセタミプリド ※	99	シアナジン ※	184	トルクロホスメチル ※	269	プロシミドン ※
15	アジキストロビン ※	100	シアノホス ※	185	トルフェンピラド ※	270	プロチオホス ※
16	アトラジン ※	101	ジウロン ※	186	1-ナフトレン酢酸 ※	271	プロバキサホップ ※
17	アニコホス ※	102	ジエトフェンカルブ ※	187	ナプロアニリド ※	272	プロバジン ※
18	アメトリン ※	103	ジヨキサチオン ※	188	ナプロバミド ※	273	プロバニル ※
19	アラクロール ※	104	ジクロエート ※	189	ニトターールイソプロビル ※	274	プロバホス ※
20	アラマイト ※	105	ジクロシメット ※	190	ノバルロン ※	275	プロバルギッド ※
21	アルドリシ及びディルドリン ※	106	ジクロスラム ※	191	パーバン ※	276	プロビコナゾール ※
22	アレスリン ※	107	ジクロトホス ※	192	パロプロトラゾール ※	277	プロビザミド ※
23	イキサゾホス ※	108	ジクロフェンチオン ※	193	パラチオン ※	278	プロヒドロジャクソン ※
24	イソキサチオン ※	109	ジクロフルアニド ※	194	パラチオンメチル ※	279	プロフェノホス ※
25	イソキサチオンオキソソル ※	110	ジクロホップメチル ※	195	ハルフェンプロックス ※	280	プロベタンホス ※
26	イソフェンホス ※	111	ジクロラン ※	196	ハロキシホップ ※	281	プロボキシル ※
27	イソプロカルブ ※	112	ジクロプロップ ※	197	ビロリナフェン ※	282	プロマシル ※
28	イソプロチオラン ※	113	ジコホール ※	198	ビテルダノール ※	283	プロメトリン ※
29	イソバリカルブ ※	114	ジスルホトン ※	199	ビフェノックス ※	284	プロモキシニル ※
30	イプロベンホス ※	115	シフェロン ※	200	ビフェントリン ※	285	プロモプロレート ※
31	イマザキン ※	116	シニロンエチル ※	201	ビベロニルプロトキシド ※	286	プロモホスエチル ※
32	イマザメタベンズメチルエステル ※	117	シハマトリン ※	202	ビベロホス ※	287	プロモホスメチル ※
33	イマザリル ※	118	シハロホップブチル ※	203	ビラクrostロビン ※	288	ヘキサクロロベンゼン ※
34	イミダクロプリド ※	119	ジフェナミド ※	204	ビラクホス ※	289	ヘキサコナゾール ※
35	イメベンコナゾール ※	120	ジフェニルアミン ※	205	ビラゾホス ※	290	ヘキサジノン ※
36	インダノファン ※	121	ジフェノコナゾール ※	206	ビラゾリネート ※	291	ヘキサアルムロン ※
37	インドキサカルブ ※	122	シフルトリン ※	207	ビラフルフェンエチル ※	292	ヘキシチアゾクス ※
38	エスプロカルブ ※	123	シフルフェナミド ※	208	ビラダフェンチオン ※	293	ベナラキシル ※
39	エタルフルラリン ※	124	ジフルフェニカン ※	209	ビラダベン ※	294	ベノキサコール ※
40	エチオフェンカルブ ※	125	ジフルベンズロン ※	210	ビラフェノックス ※	295	ヘフタクロル ※
41	エチオン ※	126	シプロコナゾール ※	211	ビリフタリド ※	296	ベルタン (エチラン) ※
42	エチフェンホス ※	127	シプロジニル ※	212	ビリブチカルブ ※	297	ベルメトリン ※
43	エトキサゾール ※	128	シベルメトリン ※	213	ビリプロキシフェン ※	298	ベンコナゾール ※
44	エトフェンプロックス ※	129	シマジン ※	214	ビリミカーブ ※	299	ベンシクロン ※
45	エトプロホス ※	130	シメコナゾール ※	215	ビリミジフェン ※	300	ベンシリド ※
46	エトリムホス ※	131	ジメタメトリン ※	216	ビリミノバクメチル ※	301	ベンゾフェナップ ※
47	エボキシコナゾール ※	132	ジメチピン ※	217	ビリホスメチル ※	302	ベンダイオカルブ ※
48	エンドスルファン ※	133	ジメチリモール ※	218	ビリタニル ※	303	ベンディメタリン ※
49	エンドスルファンスルフェート ※	134	ジメテナミド ※	219	ビロキロン ※	304	ベンフラカルブ ※
50	エンドリン ※	135	ジメトエート ※	220	ビングロソリン ※	305	ベンフルラリン ※
51	オキサジアゾン ※	136	ジメトモルフ ※	221	ファミフル ※	306	ベンフレセート ※
52	オキサジキシル ※	137	シメトリン ※	222	ファミキサドン ※	307	ホサロン ※
53	オキサジクロメホン ※	138	ジメビレート ※	223	フィプロニル ※	308	ボスカリド ※
54	オキサトリン ※	139	シラフルオフェン ※	224	フィナミホス ※	309	ホスチアゼート ※
55	オキサミル ※	140	スピノサド ※	225	フェナリモル ※	310	ホスファミドン ※
56	オキシカルボキシ ※	141	スピロキサミン ※	226	フェニトロチオン ※	311	ホスメット ※
57	オキシフルオルフェン ※	142	スピロジクロフェン ※	227	フェノキサニル ※	312	ホメサフェン ※
58	オメトエート ※	143	ソキサミド ※	228	フェノキシカルブ ※	313	ホルクローフェニユロン ※
59	オリザリン ※	144	ターシシル ※	229	フェノチオカルブ ※	314	ホルモチオン ※
60	カズサホス ※	145	ダイアジノン ※	230	フェノトリン ※	315	ホレート ※
61	カフエンストロール ※	146	ダイアレート ※	231	フェノフルカルブ ※	316	マラチオン ※
62	カルバリル ※	147	ダイムロン ※	232	フェリムソル ※	317	ミクロプタニル ※
63	カルフェントラゾールエチル ※	148	チアクロプリド ※	233	フェンアミドン ※	318	メカルバム ※
64	カルプロバミド ※	149	チアベンダゾール ※	234	フェンクロルホス ※	319	メコプロップ ※
65	カルボフラン ※	150	チアメトキサム ※	235	フェンシルホチオン ※	320	メタクリホス ※
66	キナルホス ※	151	チオベンカルブ ※	236	フェントエート ※	321	メタベンズチアズロン ※
67	キノキシフェン ※	152	チオメトン ※	237	フェンバレート ※	322	メタラキシル及びメフェノキサム ※
68	キノクラミン ※	153	チアズロン ※	238	フェンピロキシメート ※	323	メチダチオン ※
69	キャプタン ※	154	チフルザミド ※	239	フェンプロコナゾール ※	324	メトキシクロル ※
70	キントゼン ※	155	テクナゼン ※	240	フェンプロバトリン ※	325	メトキシフェノジド ※
71	クミルロン ※	156	テトラクロロピリホス ※	241	フェンプロビモルフ ※	326	メトブレン ※
72	クレンキシムメチル ※	157	テトラコナゾール ※	242	フェンメディファム ※	327	メトミノストロビン ※
73	クロキントセットメキシル ※	158	テトラジホン ※	243	フサライド ※	328	メトラクロール ※
74	クロゾリネート ※	159	テニルクロール ※	244	ブタクロール ※	329	メビホス ※
75	クロチアニジン ※	160	テブコナゾール ※	245	ブタフェナシル ※	330	メフェナセト ※
76	クロフェンテジン ※	161	テブチウロン ※	246	ブタミホス ※	331	メフェンビルジエチル ※
77	クロプロップ ※	162	テブフェノジド ※	247	ブピリメート ※	332	メプロニル ※
78	クロマゾン ※	163	テブフェンピラド ※	248	ブプロフェジン ※	333	モノクロトホス ※
79	クロマフェノジド ※	164	テフルトリン ※	249	フチオカルブ ※	334	モノリニユロン ※
80	クロメプロップ ※	165	テフルベンズロン ※	250	フラムプロップメチル ※	335	ラクトフェン ※
81	クロランスラムメチル ※	166	デメトン-S-メチル ※	251	フラメトビル ※	336	リニユロン ※
82	クロリダジン ※	167	デルタメトリン及びトラロメトリン ※	252	フルアクリリウム ※	337	ルフェヌロン ※
83	クロルエトキシホス ※	168	テルブトリン ※	253	フルキンコナゾール ※	338	レスメトリン ※
84	クロルターールジメチル ※	169	テルブホス ※	254	フルジオキソニル ※	339	レナシル ※
85	クロルデン ※	170	トラルコキシジム ※	255	フルントリネート ※		

・肉中の残留農薬として検査実施 ※農産物でのみ検査実施

残留農薬検査の実施状況

検体名	検体数	項目数
輸入野菜	3	834
かんきつ類	3	957
アスパラガス	6	1,926
日本なし	6	1,920
にら	6	1,932
いちご	6	1,944
トマト	6	1,938
輸入牛肉, 輸入豚肉, 輸入鶏肉	6	18
計	42	11,469

[結果] 残留基準：超過無し

※残留農薬とは、農薬を使用した結果、食品や農産物等から検出されるあらゆる物質で、変換産物、代謝産物、反応産物、不純物など、農薬から生じた毒性学的に重要と思われるあらゆる派生物が含まれる。

⑤ 動物用医薬品検査の実施状況

動物用医薬品が食品中に基準値を超えて残留していないか使用基準の検査を行う。

				あゆ	鶏卵	輸入牛豚鶏肉	はちみつ	生乳	計
検体数				4	3	6	6	368	387
項目数計				112	81	183	30	368	774
合成抗菌剤等 28項目	アルベンダゾール	スルファジミジン	スルフィソキサゾール	96	69	159			324
	エトパペート	スルファジメトキシ	ダノフロキサシン						
	エンロフロキサシン	スルファチアゾール	チアベンダゾール						
	オキサリニック酸	スルファドキシ	チアンフェニコール						
	オフロキサシン	スルファニトラン	トリメトプリム						
	オルメトプリム	スルファピリジン	ピリメタミン						
	酢酸メレンゲステロール	スルファメトキサゾール	フルベンダゾール						
	スルファキノキサリン	スルファメキシピリダジ	レバミゾール						
	スルファクロルピリダジ	スルファメラジ							
	スルファジアジ	スルファモノメトキシ							
抗生物質 3項目	オキシテトラサイクリン	クロルテトラサイクリン					6		6
	テトラサイクリン								
抗生物質 (スクリーニング) 5項目	マクロライド系	アミノグリコシド系		16	12	24	24		76
	ペニシリン系	テトラサイクリン系							
	ベンジルペニシリン								

[結果] 残留基準：超過無し

※動物用医薬品とは、治療・予防・診断目的で、あるいは生理的機能や挙動を改変する目的で、食肉用家畜や乳用家畜、家禽類、魚類、蜂など食品生産に用いられるあらゆる動物に適用もしくは投与されるあらゆる物質。

⑥ 食品に残留する有害物質検査の実施状況

	清涼飲料水	魚介類	生あん	計
検体数	2	6	5	13
項目数	2	24	5	31
総水銀 (メチル水銀含む)	-	6	-	6
有機スズ (TBTO, DBT, TPT)	-	18	-	18
カビ毒 (パツリン)	2	-	-	2
シアン	-	-	5	5

[結果] 暫定基準: 全て基準超過等無し

⑦ 遺伝子組換え食品検査の実施状況

安全が確認されていない遺伝子組換え食品の発見と、適正表示確認のための検査を実施している。なお、我が国での安全性審査により安全性が確認された遺伝子組換え食品についても組換え DNA(遺伝子)の含有量の確認を行う。

		コーンフラワー
検体数		2
項目数		4
定性	CBH351, Bt10	4
定量	Bt11, Event176, T25, Mon810, GA21	-

[結果] 定性試験: 全て陰性

⑧ アレルギー物質(特定原材料)を含む食品検査の実施状況

食品製造過程におけるアレルギー物質の混入を防ぐため、表示義務のある7品目の特定原材料(小麦, そば, 卵, 乳, 落花生, えび, かに)のうち, 市内の製造工場で製造されている食品について検査を実施する。

	麺類	菓子類	そうざいの素等	ソース	清涼飲料水	計
検体数	16	7	6	1	7	37
項目数	16	7	6	1	7	37
そば	16	-	-	-	-	16
乳	-	7	6	1	7	21

[結果] 表示義務のある特定原材料の基準量 10 μ g/g を超える特定原材料の混入無し

⑨ 容器包装検査の実施状況

食品用器具・容器包装は食品と直接接触して使用されることから, 化学物質等の溶出により食品が汚染されないよう配慮する必要があることから, 規格基準検査を実施する。

		容器包装
検体数		8
項目数		40
材質試験	カドミウム, 鉛	16
溶出試験	蒸発残留物, 過マンガン酸カリウム消費量, 重金属	24

[結果] 全て基準に適合

⑩ 食中毒（疑）関連検査の実施状況

食中毒及びその疑いがある事例について、便や食品等の検査を行う。

	食中毒			計
	食品	ふきとり	便	
検体数	36	83	170	289
項目数計	156	504	1,327	1,987
赤痢菌	12	43	114	169
サルモネラ属菌	12	43	114	169
ビブリオ属菌	12	43	114	169
黄色ブドウ球菌	12	43	114	169
下痢原性大腸菌	12	43	114	169
カンピロバクター属菌	12	43	114	169
ウェルシュ菌	12	43	114	169
セレウス菌	12	43	114	169
エルシニア属菌	12	43	114	169
腸管出血性大腸菌	12	43	114	169
ノロウイルス	36	74	166	276
ロタウイルス	-	-	2	2
その他	-	-	19	19

⑪ 臨時検査の実施状況

依頼日	内容	検査項目	検体数	項目数
4月	冷凍入した硬質異物	外観, IR 検査, X 線検査	1	3
計			1	3

イ 家庭用品検査（平成 10 年度開始）

【事業の目的・内容】

家庭用品には、いろいろな種類の化学物質が様々な目的で使用されており、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき、家庭用品に含まれる化学物質による健康被害を未然に防止するため検査を実施する。

（保健所編 家庭用品試買検査 参照）

根拠法令等	依頼課・グループ
有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律	保健所総務課 薬事グループ

《実績》家庭用品等の検査実施状況

	繊維製品（24ヶ月未満）	家庭用エアゾル製品	計
検体数	19	-	19
項目数計	19	-	19
ホルムアルデヒド	19	-	19
トリクロロエチレン	-	-	-
テトラクロロエチレン	-	-	-

〔結果〕全て基準に適合

(3) 環境検査（平成8年度開始 令和6年度予算：8,638千円 市単独）

市民が健康で安心、快適に暮らせるよう環境保全業務として、環境保全課の依頼により、河川等の公共用水域や地下水、工場排水、ゴルフ場排水等の水質検査、工場・事業場等のばい煙や排出ガス中の揮発性有機化合物(VOC)濃度及び騒音・振動等の測定を実施している。

また、廃棄物対策課の依頼により、最終処分場周辺地下水等の水質調査や埋立地浸出水の水質検査、廃棄物の溶出試験等を実施している。

さらに、生活衛生業務として生活衛生課の依頼により、浴槽水や採暖槽水及び冷却塔水等の水質検査を実施している。

ア 環境保全課関係

(ア) 水質検査

【事業の目的・内容】

① 公共用水域

河川事故等による水質異常等の発生時に「水質汚濁防止法」に基づき、河川等公共用水の検査を実施する。

② 地下水

テトラクロロエチレン等の揮発性有機化合物や六価クロム等の重金属類等による地下水汚染状況を調査するため、「地下水の水質汚染に係る環境基準」に基づき、地下水の水質検査を実施する。

③ 工場排水

「水質汚濁防止法」の排水基準監視のため、特定事業場等排水の水質検査を実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
水質汚濁防止法，地下水の水質汚染に係る環境基準 等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》環境保全課関係水質検査実施状況

検査分類	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
公共用水	6	12	8	17	6	12
地下水	21	48	5	16	8	34
工場排水	67	501	66	454	60	424
計	94	561	79	487	74	470

令和3年度基準超過項目：工場排水(BOD 1件，りん含有量 1件)
地下水(硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 6件)

令和4年度基準超過項目：工場排水(BOD 1件，りん含有量 1件，SS 1件)

令和5年度基準超過項目：なし

◇環境保全課関係水質検査項目一覧[48項目]

生活環境項目	1	pH	6	フェノール類	11	クロム
	2	BOD	7	銅	12	大腸菌群数
	3	COD	8	亜鉛	13	窒素含有量
	4	SS	9	溶解性鉄	14	りん含有量
	5	n-ヘキサン抽出物質	10	溶解性マンガン		
健康項目	15	カドミウム	25	四塩化炭素	35	シマジン
	16	シアン	26	1,2-ジクロロエタン	36	チオベンカルブ
	17	有機りん化合物	27	1,1-ジクロロエチレン	37	ベンゼン
	18	鉛	28	シス-1,2-ジクロロエチレン	38	セレン
	19	六価クロム	29	1,1,1-トリクロロエタン	39	ほう素
	20	ヒ素	30	1,1,2-トリクロロエタン	40	ふっ素
	21	総水銀	31	トリクロロエチレン	41	アンモニウム化合物等合計量
	22	アルキル水銀	32	テトラクロロエチレン	42	1,4-ジオキサソ
	23	ポリ塩化ビフェニル	33	1,3-ジクロロプロペン		
24	ジクロロメタン	34	チウラム			
その他	43	DO	46	TOC		
	44	電気伝導率	47	硬度		
	45	過マンガン酸カリウム消費量	48	塩化ビニルモノマー		

(イ) ゴルフ場農薬検査

【事業の目的・内容】

「ゴルフ場の農薬使用に係る水質調査実施要領」に基づき、9か所のゴルフ場について排水等の水質検査を実施する。

根拠法令等	依頼課・グループ
ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止及び水域の生活環境動植物の被害防止に係る指導指針等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》ゴルフ場農薬検査実施状況

検査分類	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
ゴルフ場農薬	13	329	13	298	13	322

◇ゴルフ場農薬検査項目一覧[31項目]

殺虫剤	1	EPN	7	ジノテフラン	13	ニテンピラム
	2	アセタミプリド	8	ジクラニリプロール	14	フェニトロチオン
	3	イソキサチオン	9	ダイアジノン	15	フェノブカルブ
	4	イミダクロプリド	10	チアクロプリド	16	フルベンジアミド
	5	クロチアニジン	11	チアメトキサム		
	6	クロラントラリニプロール	12	チオジカルブ		
殺菌剤	17	アゾキシストロビン	20	イノキサリル酢酸塩及びイノキサリルベジル酸塩	23	テブコナゾール
	18	イソプロチオラン	21	オキシ銅(有機銅)	24	チウラム(チラム)
	19	イプロベンホス(IBP)	22	クロロタロニル(TPN)	25	ペンシクロン
除草剤	26	アシュラムトリウムトリウム塩 又は、アシュラム	28	シマジン(CAT)	31	MCPPカリウム塩, MCPPジメチルアミン塩, メコプロップPイソプロピルアミン塩及びメコプロップPカリウム塩
			29	チオベンカルブ		
	27	ジチオピル	30	プロピザミド		

(ウ) 大気検査

【事業の目的・内容】

① ばい煙測定

「大気汚染防止法」に基づき、ばい煙発生施設等のばい煙測定を実施する。

② VOC濃度測定

「大気汚染防止法」に基づき、揮発性有機化合物排出施設等の排出ガス中のVOC濃度の測定を実施する。

③ 悪臭検査

「悪臭防止法」に基づき、臭気指数等の測定を実施する。

根拠法令等	依頼課・グループ
大気汚染防止法, 悪臭防止法等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》大気等検査実施状況

検査分類	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
ばい煙*	5	51	5	51	5	53
VOC濃度	3	3	3	3	3	3
臭気測定	1	1	1	1	0	0
計	9	55	9	55	8	56

令和3年度基準超過項目：臭気指数 1件

令和4年度基準超過項目：臭気指数 1件

令和5年度基準超過項目：なし

※ばい煙検査項目一覧

ばい煙項目	硫黄酸化物	ばいじん	酸素濃度
	窒素酸化物	排ガス流速	静圧
	湿り排ガス量	排ガス温度	鉛及びその化合物
	乾き排ガス量	塩化水素	全水銀

(エ) 騒音・振動検査

【事業の目的・内容】

市民からの相談による現場調査時に「騒音規制法」、「振動規制法」、「低周波音問題対応の手引書」に基づき、騒音・振動等の測定を行う。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
騒音規制法，振動規制法 等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》騒音・振動等検査実施状況

検査分類	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
騒音	1	1	-	-	-	-
振動	1	1	-	-	-	-
低周波	-	-	-	-	-	-
計	2	2	-	-	-	-

イ 廃棄物政策課関係

【事業の目的・内容】

(ア) 最終処分場周辺地下水及び埋立地浸出水等の水質検査

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、最終処分場周辺地下水等と埋立地浸出水の水質検査を実施する。

(イ) 土砂等検査

「栃木県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」に基づき、土砂等の検査を実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
廃棄物の処理及び清掃に関する法律， 栃木県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発 生の防止に関する条例 等	環境部廃棄物政策課 企画調整グループ 審査指導グループ

《実績》廃棄物政策課関係検査等実施状況

検査分類	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
水質	163	1,698	147	1,513	139	1,441
土砂等	2	74	1	30	6	86
計	165	1,772	148	1,543	145	1,527

◇廃棄物政策課関係検査項目一覧[浸出水：10項目]

水素イオン濃度	ヒ素	ほう素
鉛	カドミウム	1,4-ジオキサン
六価クロム	ふっ素	BOD
総水銀		

◇廃棄物政策課関係検査項目一覧[地下水：46項目]

有害物質関係項目	1	カドミウム	11	テトラクロロエチレン	21	シマジン
	2	シアン	12	ジクロロメタン	22	チオベンカルブ
	3	有機りん	13	四塩化炭素	23	ベンゼン
	4	鉛	14	1,2-ジクロロエタン	24	セレン
	5	六価クロム	15	1,1-ジクロロエチレン	25	ほう素
	6	ヒ素	16	シス-1,2-ジクロロエチレン	26	ふっ素
	7	総水銀	17	1,1,1-トリクロロエタン	27	1,4-ジオキサソ
	8	アルキル水銀	18	1,1,2-トリクロロエタン	28	アンモニア, アン
	9	ポリ塩化ビフェニル	19	1,3-ジクロロプロペン		モニウム化合物,
	10	トリクロロエチレン	20	チウラム		亜硝酸化合物及び
生活環境項目	29	pH	34	n-ヘキサン抽出物質(動物油脂類)	39	溶解性マンガン
	30	BOD	35	フェノール類	40	クロム
	31	COD	36	銅	41	大腸菌群数
	32	SS	37	亜鉛	42	窒素含有量
	33	n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)	38	溶解性鉄	43	りん含有量
その他	44	塩化ビニルモノマー	46	TOC		
	45	1,2-ジクロロエチレン				

◇廃棄物政策課関係検査項目一覧[土砂：30項目]

溶出試験	1	カドミウム	11	四塩化炭素	21	チウラム
	2	シアン	12	塩化ビニルモノマー	22	シマジン
	3	有機りん	13	1,2-ジクロロエタン	23	チオベンカルブ
	4	鉛	14	1,1-ジクロロエチレン	24	ベンゼン
	5	六価クロム	15	1,2-ジクロロエチレン	25	セレン
	6	ヒ素	16	1,1,1-トリクロロエタン	26	ふっ素
	7	総水銀	17	1,1,2-トリクロロエタン	27	ほう素
	8	アルキル水銀	18	トリクロロエチレン	28	1,4-ジオキサソ
	9	ポリ塩化ビフェニル	19	テトラクロロエチレン	29	ヒ素※
	10	ジクロロメタン	20	1,3-ジクロロプロペン	30	銅※

※は含有量試験項目

ウ 生活衛生課関係

【事業の目的・内容】

「公衆浴場法」,「旅館業法」に基づく浴槽水,「遊泳用プール衛生指導要綱」に基づく採暖槽水,「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく冷却塔水の水質検査を実施する。

(保健所編 生活衛生施設等の監視・指導の充実 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
公衆浴場法, 旅館業法, 建築物における衛生的環境の確保に関する法律, 宇都宮市遊泳用プール衛生指導要綱 等	生活衛生課 食品・環境衛生グループ

《実績》生活衛生課関係水質検査状況

検査分類	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
浴槽水	95	190	97	194	92	184
採暖槽水	10	30	8	24	8	24
冷却塔水	27	27	21	21	20	20
計	132	247	126	239	120	228

令和3年度基準超過項目：浴槽水(TOC 3件, 濁度 1件), 採暖槽水(pH 1件)

令和4年度基準超過項目：浴槽水(TOC 3件), 採暖槽水(pH 1件)

令和5年度基準超過項目：浴槽水(TOC 1件), 採暖槽水(pH 1件)

◇生活衛生課関係水質検査項目一覧[4項目]

pH	濁度	TOC	過マンガン酸カリウム消費量
----	----	-----	---------------

エ 保健所総務課関係

【事業の目的・内容】

(ア) 保健所下水検査

「下水道法」及び「工場・事業場排水等自主管理要領」に基づき、保健所下水の水質検査を月1回実施する。

(イ) 保健所給水栓検査

「水道法」に基づき、保健所の給水栓の水質検査を週1回実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
下水道法, 水道法 等	保健福祉部保健所総務課 企画グループ

《実績》保健所総務課関係水質検査実施状況

検査分類	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
保健所下水	12	132	12	132	12	132
給水栓	52	260	52	260	52	260
計	64	392	64	392	64	392

◇保健所下水水質検査項目一覧[11項目]

pH	銅	総水銀	アンモニア性窒素
六価クロム	亜鉛	ほう素	亜硝酸性窒素及び
鉛	シアン	ふっ素	硝酸性窒素

◇保健所給水栓水質検査実施項目一覧[5項目]

色	濁り	臭気	味	残留塩素
---	----	----	---	------

オ その他

関係課からの依頼により、臨時検査等を実施した。(検体数, 項目数は, 前出を再掲)

	依頼月	依頼課	検査分類	検体数	項目数
1	6月	廃棄物政策課	土壌	5	55
2	7月	廃棄物政策課	土壌	1	31
3	1月	環境保全課	地下水	3	18
	計			9	104

(4) 精度管理

試験データの信頼性を確保するためには、試験所の組織的な管理体制の確立 (GLP) や、技能試験 (外部精度管理) への参加、内部精度管理の実施、分析法の妥当性確認等が必要である。

そこで、技能確認のため外部機関が実施する外部精度管理調査に定期的に参加するとともに、検査業務や機器の点検整備の記録等についての内部点検、検査技術の研鑽等を目的とした内部精度管理を実施している。

ア 外部精度管理

【事業の目的・内容】

(ア) 感染症検査部門

病原体等検査の質を確保するため、平成28年4月から施行された改正感染症法に基づく「検査施設における病原体等検査の業務管理要領」等により、病原体等検査部門責任者 (微生物グループ係長) を設置して業務管理を行っている。また、国立感染症研究所などが実施する精度管理調査等に参加し、検査を実施する。

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則、検査施設における病原体等検査の業務管理要領、外部精度管理事業実施要綱 等	衛生環境試験所 理化学グループ

《実績》 感染症検査外部精度管理実施状況

実施主体	検体	検査項目		実施月
厚生労働省健康局 結核感染症課 感染症情報管理室	EQA パネル検体	次世代 シーケンシング による遺伝子解析	新型コロナウイルス	5月
	EQA パネル検体	リアルタイム RT-PCR 法 による核酸検出検査	麻しん 風しん	7月
厚生労働科学研究 公益財団法人 結核予防会結核研究所抗 酸菌部	結核菌 DNA	結核菌遺伝子 型別	結核菌 VNTR 解 析	11月
厚生労働科学研究 レジオネラ属菌検査精度 管理サーベイ事務局	レジオネラ属菌検 査精度管理 サーベイ試料	レジオネラ属菌 定量	レジオネラ属 菌	2月
厚生労働省・生活衛生局 感染症対策部感染症対策 課	核酸抽出後 RNA・ 核酸抽出前 RNA	リアルタイム RT-PCR 法 による核酸検出検査	新型コロナウイルス	1月

(イ) 食品検査部門

「宇都宮市食品衛生検査業務管理要領」及び「精度管理の一般ガイドライン」に基づき、検査部門責任者 (衛生環境試験所長) を設置して試験検査に係る業務管理に取り組んでいる。

食品については、信頼性確保部門責任者の依頼により、一般財団法人食品薬品安全センター秦野研究所公益事業部の食品衛生外部精度管理調査室で調製した検体について、検査精度の確認のための検査を実施する。

また、食中毒関連細菌検査については、栃木県試験検査精度管理委員会で実施する精度管理調査に参加し、技能確認を実施する。

(保健所編 食品衛生検査業務管理 参照)

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
食品衛生法、食品衛生法施行規則、宇都宮市食品衛生検査業務管理要領 等	保健所総務課 薬事グループ

《実績》食品検査外部精度管理実施状況

実施主体	検体	検査項目		実施月	
一般財団法人 食品薬品安全センター 秦野研究所 公益事業部食品衛生外 部精度管理調査室	ハンバーグ	菌同定	E. coli (定性)	6月	
	白飯	菌数測定	一般細菌数 (定量)	7月	
	マッシュポテト	菌同定	黄色ブドウ球菌 (定 性)		10月
	ほうれんそう ペースト	残留農薬	クロルピリホス ダイアジノン		6月
	豚肉 (もも) ペースト	残留動物用 医薬品	スルファジミジン		9月
	果実ペースト	食品添加物	着色料 (定性)		10月
栃木県 試験検査精度管理調査	菌液模擬試料	細菌検査	菌の分離・同定	9月	

(ウ) 環境検査部門

水質試験について、日本環境衛生センター及び栃木県試験検査精度管理委員会で実施する精度管理調査に参加し、技能確認を実施する。

《実績》環境検査外部精度管理実施状況

実施主体	検体	検査項目		実施月
環境省 一般財団法人日本環境衛生センター	模擬排水試料	水質試験	COD 全窒素 亜硝酸性窒素 硝酸性窒素	8月
栃木県 試験検査精度管理調査	模擬排水試料	水質試験	燐含有量 (T-P)、 銅含有量 (Cu)	9月

イ 内部精度管理

【事業の目的・内容】

(ア) 感染症検査部門

根拠法令等	信頼性確保部門
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則，検査施設における病原体等検査の業務管理要領等	衛生環境試験所 理化学グループ

《実績》感染症検査内部精度管理実施状況

内容		検体	検査項目	実施月
細菌検査	定量試験	血清	結核 (QFT)	4月
	定性試験	菌株	腸管出血性大腸菌	9月
		結核菌 DNA	結核菌 VNTR 解析	12月
ウイルス検査	定量試験	コントロール DNA	感染性胃腸炎 (ノロウイルス)	4月
		コントロール RNA	麻疹	6月
		コントロール RNA	風疹	6月
		コントロール RNA	季節性インフルエンザ ウイルス	4月

(イ) 食品検査部門

食品検査部門において、「業務管理要領」及び「精度管理の一般ガイドライン」に基づき、食品添加物の添加回収試験等の内部精度管理を実施している。

そのうち、検査実施頻度の多い項目として、理化学的検査では、食品に添加した標準品の回収率を繰り返し求める「繰り返し試験」、微生物学的検査では、食品に添加した菌を検出する「定性試験」及び添加した菌の回収率を求める「定量試験」を実施し、信頼性確保部門責任者に報告する。

(保健所編 食品衛生検査業務管理 参照)

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
食品衛生法，食品衛生法施行規則，宇都宮市食品衛生検査業務管理要領 等	保健所総務課 薬事グループ

《実績》食品検査内部精度管理実施状況

内容	検体	検査項目	実施月	
理化学的検査	繰り返し試験	鶏ムネ肉	残留動物用医薬品 (スルファジミジン)	4月
		みそ	保存料 (ソルビン酸)	2月
		たらこ	発色剤 (亜硝酸根)	3月
微生物学的検査	定性試験	弁当・そうざい	E. coli	3月
		弁当・そうざい	黄色ブドウ球菌	3月
	定量試験	牛乳	一般細菌数	3月

ウ 地域保健総合推進事業に基づく関東甲信静ブロック精度管理事業

【事業の目的・内容】

地域における健康危機管理体制確保のための地方衛生研究所の連携協力の推進並びに検査精度の向上を図る。

《実績》関東甲信静ブロック精度管理実施状況

実施主体	検体	検査項目	実施月
地域保健総合推進事業に基づく関東甲信静ブロック精度管理事業	カプセル剤	健康食品 フェノールフタレイン	9月

2 調査研究

調査研究事業の概要

【事業の目的・内容】

平常時から技術レベルの維持向上を図るため、多様化、高度化する試験検査に係る検査の迅速化、精度の向上等やモニタリング調査などの基礎的研究を行う。

また、国や県、他の地方衛生研究所等との共同研究に参加し、技術的・専門的な支援のための応用的研究を行う。

《実績》

年度	調査研究の内容	発表先
R3	新型コロナウイルス感染症のウイルス排出量の調査及び分離ウイルス株の遺伝学的解析	大同生命厚生事業団 地域保健福祉研究
	新型コロナウイルス陽性者のウイルス排出量	地方衛生研究所全国協議会 ウイルス研究部会
	浴槽水等からのレジオネラ症の検出に係る内部精度管理の方法を確立するための検討	栃木県生活衛生関係業績発表会
R4	栃木県内で検出された SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）の分子疫学解析（栃木県保健環境センターとの共同研究）	関東・東京合同地区獣医師大会・三学会、 栃木県公衆衛生学会
	栃木県内で検出された SARS-CoV-2 のハプロタイプネットワーク解析（栃木県保健環境センターとの共同研究）	栃木県公衆衛生学会
R5	栃木県内で検出された SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）の分子疫学解析【第二報】（栃木県保健環境センターとの共同研究）	栃木県公衆衛生学会
	簡易 RNA 抽出によるノロウイルス検出キットの有効性の検討	栃木県生活衛生関係業績発表会
	LC-MS/MS による食用タール色素の一斉分析法の検討	栃木県生活衛生関係業績発表会

3 研修指導

研修指導事業

【事業の目的・内容】

検査の信頼性向上のため、依頼課が行う検体の採取から搬送、受け渡し、検体の取扱い等に関するマニュアルを作成し、依頼課職員等への技術支援を行う。

医療機関や食品工場の検査室等民間事業者等への知識・技術の伝達、地域保健衛生分野の学生等の実習受け入れ等を行い、地域保健の推進に関する活動や学習の支援を積極的に行う。

《実績》

① 依頼課への技術支援

件名	内容	対象者等	場所	実施日
感染症検査に係る検体の取扱い研修	感染症発生動向調査の検査用検体採取マニュアルに沿って説明	保健予防課職員	小会議室	4/21
食品収去に係る試験品の取扱い研修	食品検体採取マニュアルに沿って説明	生活衛生課 3 名 衛生環境試験所 3 名	大会議室	4/14
環境検査に係る検体の取扱い研修	環境水等採水マニュアルに沿って説明	廃棄物対策課 3 名 環境保全課 1 名	環境化学検査室	4/14

② 民間機関等への研修指導

件名	内容	対象者等	場所	実施日
地域保健実習	医学生等への保健衛生及び環境衛生検査についての説明及び実習	独協医科大学医学部学生4名	試験所2階臨床検査室等	10/25
		自治医科大学医学部学生5名	試験所2階臨床検査室等	11/15
		薬学部学生9名	試験所各試験室等	8/7 ~ 8/10

4 情報発信

情報発信事業

【事業の目的・内容】

市民の食品の安全性や感染症などへの不安解消に資するため、収集・分析した公衆衛生や調査研究に関する情報を関係機関や市民等へ発信する。

市ホームページや広報紙等の活用に加え、出前講座や親子教室等を開催して、わかりやすく迅速な情報発信の機会を拡充する。

《実績》

① イベント等の開催

件名	内容	対象者等	場所	実施日
夏休み親子教室 親子で発見！科学実験教室	科学実験等	小学3～6年生 親子14組33名	保健所3階 大会議室	8/9
		小学3～6年生 親子15組34名	保健所3階 大会議室	8/9
		小学3～6年生 親子8組19名	保健所3階 大会議室	10/10
小学生向け講座 科学体験教室 (各生涯学習センター等共催)	科学実験、正しい手洗いについて	小学4～5年生 30名	豊郷生涯学習センター	6/3
		小学4～6年生 18名	国本生涯学習センター	7/27
		未就学児、小学2～6年生 26名	城山生涯学習センター	1/20

② 広報活動等

広報媒体	掲載内容・活用方法
ホームページ更新	試験所の業務内容、検査に関する写真、年報等を掲載 また、市民へわかりやすく情報提供するため、食品Q&Aを掲載
パネル展示	写真等で試験検査に関する内容を分かりやすく紹介したパネルを保健所に展示し、来庁者や夏休み親子教室等のイベントで活用